



西中学校通信

第1号

自主的に考え、正しく行動できる生徒 <自立と自律>

この4月1日に校長として西中学校に着任いたしました校長の浅沼俊英です。この西中学校での勤務は3度目となります。西中学校に勤務できることを大変うれしく思っています。

さて、本年度の校長の学校経営方針（どのような学校を創りたいか）を下記に示します。

<学校経営方針>

○目指す学校像 「入学前には憧れ、在学中は安心でき、卒業後は誇りに思える学校」

生徒の皆さんの安全を守ることは学校の最低限の責務です。そして、学校は生徒の皆さんが、安心して自分を表現できる場であることが大切です。

西中生が目指す生徒像に近づくことで、卒業後も、西中学校に誇りをもつことができるでしょう。また、これまでの卒業生や地域の方々も、一層、西中学校を誇りに思ってくれることでしょうか。そして、入学前の幼児・児童や他校の生徒が西中学校の生徒のようになりたいと思ってくれることが、これまでの西中学校の伝統を、さらに磨き上げることになると考えています。

○目指す生徒像 「自立のために、自律できる生徒」

将来、生徒の皆さんが、社会的、経済的、精神的に自立できるように、中学校段階では、自分自身の感情と行動をコントロールでき、自分自身を大切にできる力（自律）を身につけてほしいと考えています。

なお、「自立」とは、自分一人で生きるということではなく、他の人たちと助け合いながら生きていくことだと考えます。

○大事にしたいこと「凡事徹底（当たり前のこと当たり前でできる）挨拶・清掃・素直」

中学生として、身につけるべきこと、中学生として、できて当たり前のことをしっかりと身につけてほしいと思っています。目立たない小さなこと、ささいなことでも、それが身につけていけば、それはその人の大きな特長となります。学校全体で取り組み、突きつめていけば、それが、学校の特色となり、やがて校風や伝統、学校文化になると信じています。

西中学校では、これまで、あいさつ・清掃・素直を凡事徹底の合言葉として取り組んできました。まずは、これまでの取組の精度を高め、西中学校のブランドにしていきたいと思います。

○学校教育目標 「自主的に考え、正しく行動できる生徒」



入学・進級によせて

200名の新入生を迎え、令和2年度がスタートしました。入学や進級によって 学級が変わるなどの環境が変化するとき、人は不安も感じますが、「頑張りたい」「やり直したい」との前向きな気持ちも芽生えるそうです。人には誰にでも「やり直し欲求」というものがあり、環境の変化は良いきっかけとなる場合が多くあります。

新型コロナウイルス感染症予防のため、学校が、再び臨時休業となりましたが、今、皆さんが感じている前向きな気持ちを、学校が再開するまで持ち続けてください。そのためには、具体的な行動が必要です。どんな小さなことでも、まずは、行動してください。



保護者の皆様へ

昨年度の3月から、新型コロナウイルス感染症対応のため、学校が臨時休業となり、新年度を迎えても、再度の臨時休業で困惑されていることと思います。現在も、状況は好転しておらず、今後も大きな動きがあるかもしれません。

感染症の予防と学校活動の維持には、相反する要素が多く、保護者の皆様の意見も分かれることと思います。同様に、本校の教職員も大きな葛藤を抱えながら勤務しています。

このような中であるからこそ、学校と家庭が一層連携していく必要があると思います。

学校ができること、家庭ができること、お互いが相手に求めるだけでなく、自分ができることを考えていかなければならないと思います。

この状況がピンチであるならば、チャンスに変えられるよう協力を深めてまいりましょう。

最後に、お願いがあります。緊急の連絡では、「さやまっ子緊急メール」を使用しておりますが、未加入の方には、迅速に連絡をすることができません。緊急情報は迅速かつ確実に全員に伝達される必要があります。未加入の方々は、至急、加入していただきますようお願いいたします。